

平成25年度一般会計歳入歳出決算状況

平成25年度の筑紫野市の一般会計の決算額は次のとおりです。

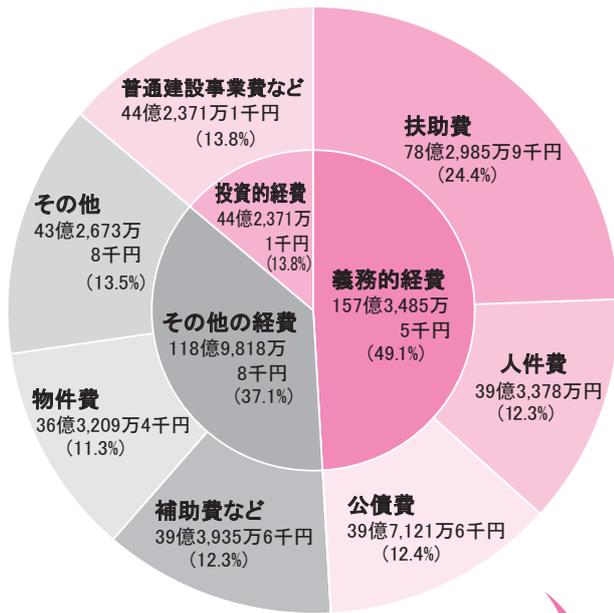
- 収入額 333億8,955万円 (320億2,773万1千円)
- 支出額 320億5,675万4千円 (305億3,629万1千円)
- 収支差引額(収入-支出) 13億3,279万6千円 (14億9,144万円)
- 純黒字額※ 6億2,617万4千円 (8億4,992万7千円)

※「純黒字額」とは、「収支差引額」から翌年度に繰越して使うことが決まっている財源を引いた額です。()内は平成24年度の額です。

25年度一般会計歳出決算額

320億5675万4千円

歳出性質別決算状況



歳出を性質別に分類すると、義務的経費(扶助費、人件費、公債費)、投資的経費(普通建設事業費、災害復旧事業費)、その他の経費(補助費など、物件費、維持補修費等)に分けられます。財政がどのくらい弾力性を持っているかを見ることができます。

義務的経費 ⇒ 前年度比4.3%増加しました。

主な増減要因 介護給付費等8,547万円増、職員給8,481万1千円減、繰上償還元金6億円増など。

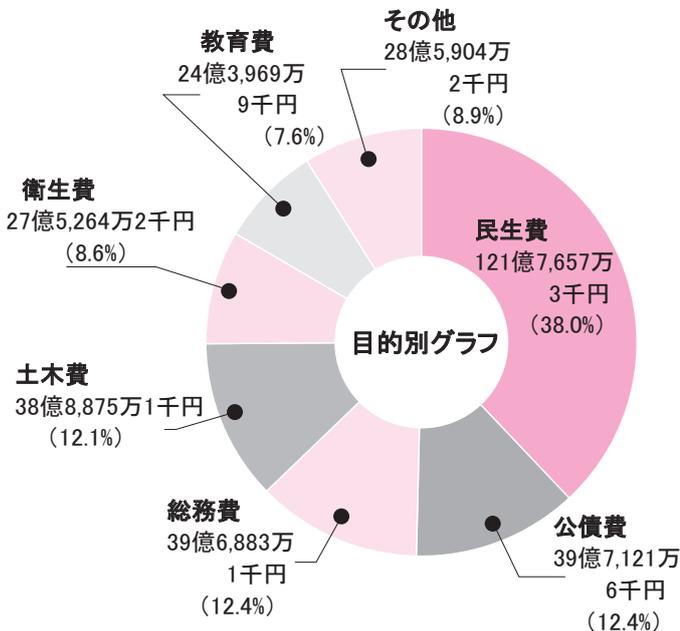
投資的経費 ⇒ 前年度比9.5%増加しました。

主な増減要因 筑紫コミュニティセンター建設事業、学校給食共同調理場施設整備事業などにより普通建設事業費が4億2,068万1千円増加。

その他の経費 ⇒ 前年度比4.3%増加しました。

主な増減要因 筑紫野太宰府消防組合負担金6,128万3千円増、二日市東小学校耐震化事業に伴う建物借上料6,604万6千円減など。

目的別に分類すると...



用語解説

■ 義務的経費

- 扶助費 生活保護費、各種医療費の助成など
- 人件費 職員給与、市議会議員報酬、各種委員報酬など
- 公債費 借り入れた市債(借金)の返済金

■ 投資的経費

- 普通建設事業費など 道路や公園、学校など公共施設の建設費、災害復旧費など

■ その他の経費

- 補助費など 各種団体などへの補助金や負担金など
- 物件費 光熱水費、消耗品費、委託料や賃借料など
- その他 維持補修費、繰出金、積立金など

決算

平成25年度 市財政状況の公表

市民の皆さんが納めた貴重な税金がどのように使われているかをお知らせするために、市の財政状況を公表します。

■ 問い合わせ先 財政課財政担当

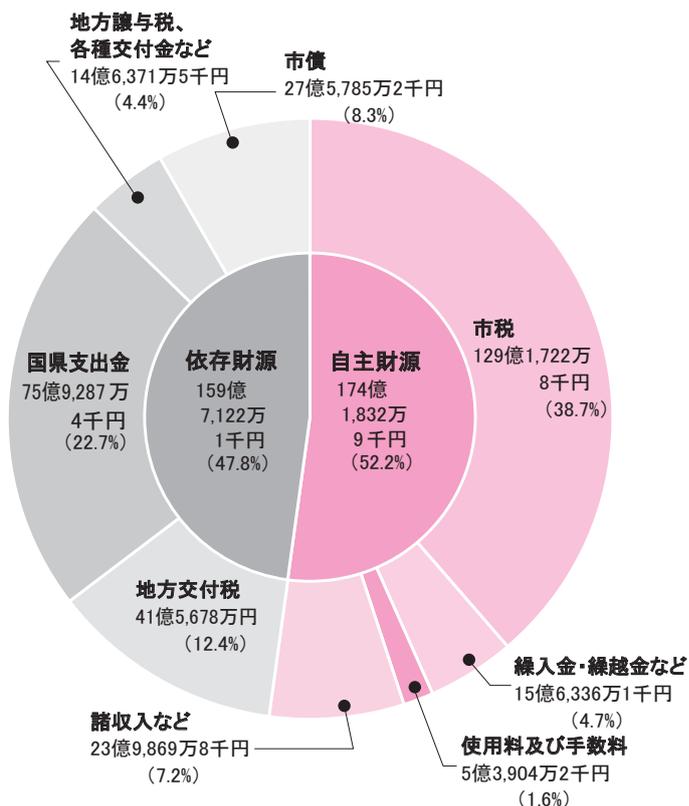
25年度一般会計歳入決算額

333億8955万円

歳入決算状況

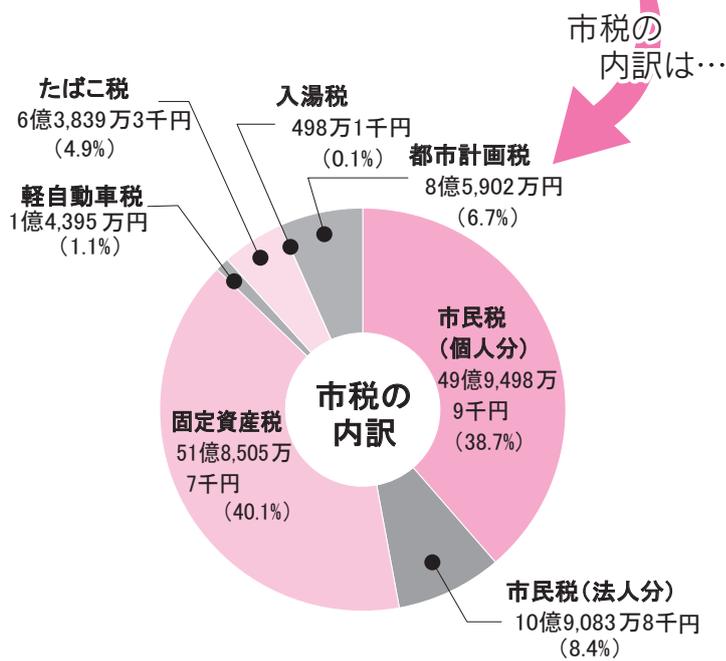
歳入全体としては、前年比4.3%(13億6,181万9千円)の増加となりました。

主な増減内容として、市税は、法人市民税や固定資産税、たばこ税などが増加したため、2.3%(2億8,913万2千円)の増加となりました。また、筑紫コミュニティセンター建設事業などの補助金が増加したため、国県支出金が4.7%(3億3,710万2千円)の増加となりました。地方交付税は2.1%(8,877万6千円)の減少、繰越金が66.2%(5億9,379万8千円)の増加となりました。



用語解説

- **自主財源** 市が自ら徴収または収納できる財源
 - 市税 市民税、固定資産税、軽自動車税など
 - 繰入金・繰越金など 基金を取り崩した繰入金や、前年度の繰越金など
 - 使用料及び手数料 市の施設の使用料や証明手数料など
 - 諸収入など 発掘調査受託事業費や各種教室受講料など
- **依存財源** 国・県などから交付される財源
 - 地方交付税 市が全国標準的な仕事をする際に不足する財源を補うため、市の財政状況に応じて交付されるお金
 - 国県支出金 特定の目的のために国や県から交付されるお金
 - 地方譲与税、各種交付金など 国から一定の割合で配分、譲与されるお金
 - 市債 市の借金のこと



市税の内訳は…

問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎ (923) 1111 にお願ひします

指標から見る筑紫野市の状況

財政力指数

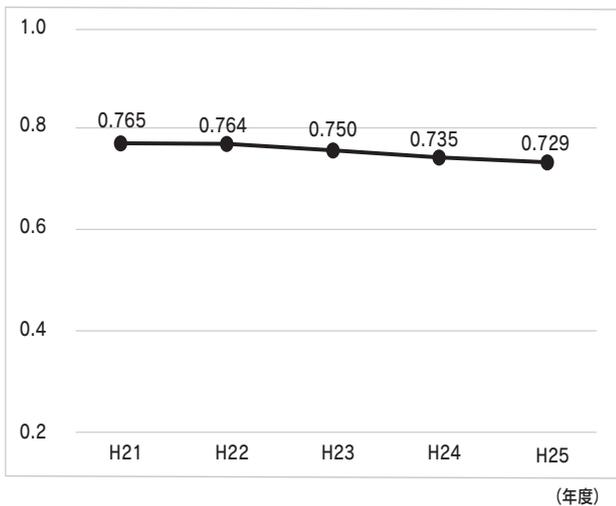
地方税など自治体の標準的な収入で合理的に行政運営を行った場合にどこまで必要経費が賄えるかを測定する指標です。この指数は「1」に近く「1」を超えるほど財源に余裕があるとされています。

25年度は、前年度より0.006下回りましたが、ここ数年は、ほぼ横ばいで推移しています。

25年度は**0.729**(前年度0.735)

県内26市中**2**位

財政力指数の推移



経常収支比率

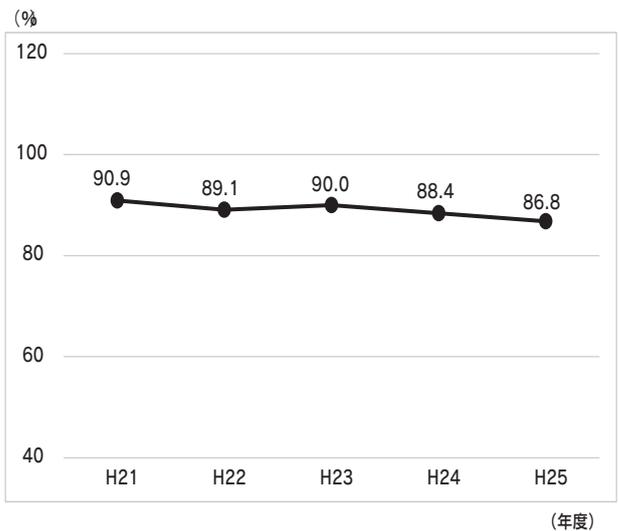
毎年決まって入ってくるお金(地方税、普通交付税など)が、毎年決まって出ていくお金(人件費、借金の返済など)に、どの程度充てられているかを示す指標です。この比率が低いほど財政構造が弾力性に富んでいるとされています。

25年度は、前年度より1.6%改善しました。

25年度は**86.8%**(前年度88.4%)

県内26市中**5**位

経常収支比率の推移



地方債

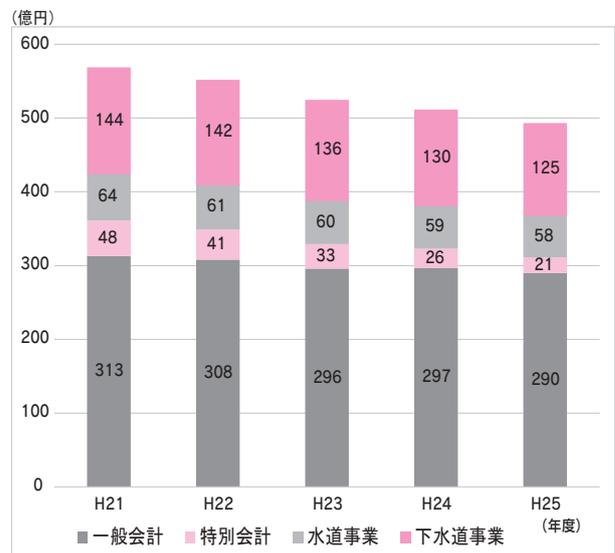
地方債は、自治体の借金のことです。今後も計画的な借入・償還に努めていきます。

25年度末現在高

一般会計	289億5,547万7千円
特別会計	20億8,131万3千円
水道事業	57億7,651万9千円
下水道事業	125億1,659万9千円

25年度は、6億円の繰上償還を行ったことに加え、前年度に引き続き、新たな地方債の発行を抑えたことにより、公債費(借金の返済)が地方債発行額を上回ったことで、地方債の現在高が約18億円減少しました。

地方債の推移



健全化判断比率・資金不足比率

健全化判断比率は、「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」による指標で、実質赤字比率、連結実質赤字比率、実質公債費比率、将来負担比率からなり、いずれかが早期健全化基準以上の場合には、「財政健全化計画」を定めなければならず、また、将来負担比率を除く、いずれかの指標が財政再生基準以上の場合には、「財政再生計画」を定めなければなりません。

資金不足比率は、公営企業における資金不足額の事業規模に対する割合であり、経営健全化基準以上の場合には、「経営健全化計画」を定めることとなります。

25年度決算に基づく本市の比率は、下表のとおりいずれも早期健全化基準等を下回り、財政状況は前年度に引き続き健全段階であるという結果となっています。

健全化判断比率	筑紫野市	早期健全化基準	財政再生基準
実質赤字比率	－ %	12.56%	20.00%
連結実質赤字比率	－ %	17.56%	30.00%
実質公債費比率	11.3%	25.0%	35.0%
将来負担比率	19.8%	350.0%	

資金不足比率	筑紫野市	経営健全化基準
資金不足比率 (水道事業・下水道事業・ 農業集落排水事業)	－ %	20.0%

・実質赤字比率、連結実質赤字比率および資金不足比率は、赤字額または不足額ともに生じないため「－ %」表記となっています。

7

基金

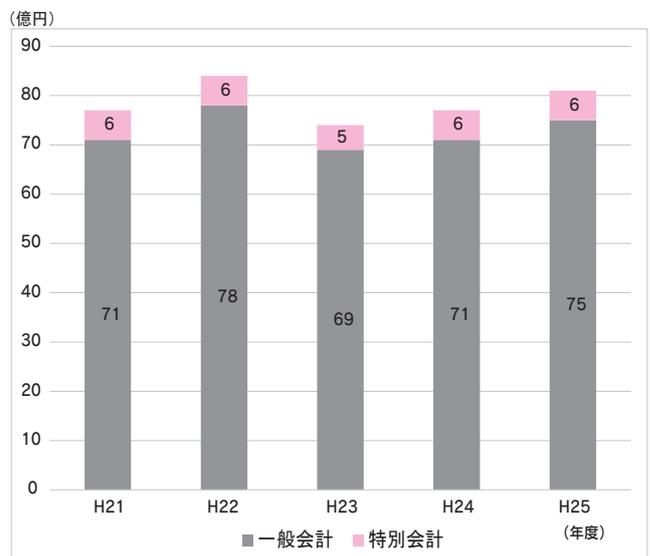
基金は、自治体の貯金のことです。今後も計画的な積立・取崩に努めていきます。

25年度末現在高

一般会計 75億3,441万7千円
特別会計 6億170万3千円

25年度は、前年度に引き続き、新たな基金の取崩しを抑えたことにより、積立金が取崩額を上回ったことで、基金の現在高が約4億円増加しました。

基金残高の推移



問い合わせ先で電話番号を掲載していない課・担当などは、市役所本庁 ☎ (923) 1111 にお願ひします

平成25年度 筑紫野市決算

主な事業の取り組み

平成25年度に行った、主な事業を重点テーマごとに紹介します。

を行い、1万4000冊を販売しました。

重点策 行財政改革

● 公債費元金償還事務事業

25年度には6億円の繰上償還を行い、地方債残高の減少に努めました。

● ふるさと応援寄附金納付促進事業

納付促進のため、一定額以上の寄付をした人へ筑紫野市の特産品の送付を開始し、大幅な増加を行いました。

重点策 産業・雇用をつくる

● 地域活性化商品券事業補助金

市内の消費拡大、経済活性化のため、筑紫野市商工会に補助

● 紫根ブランドの復活事業

福岡県緊急雇用創出事業臨時特例基金事業を活用して、24年度に福岡県の地域資源に指定された「紫草(根)」の栽培・生産のために農業従事者を確保し、生産体制を向上させました。この事業により、新規に10人を雇用しました。

● 新エネルギー設備普及事業

住宅用エコエネルギー発電システム(家庭用燃料電池など)を地場企業により設置した場合に経費の一部に補助を行っています。25年度は68件に補助を行いました。

● 青年就農給付金事業

経営の不安定な就農初期段階の青年就農者に対して、給付金を交付しました。

特別会計決算収支

国民健康保険などの事業は、保険料など特定の収入によって行うため、一般会計とは別に会計を設けています。

会計名	歳入決算額		歳出決算額	
	25年度	24年度	25年度	24年度
国民健康保険事業	96億7,149万1千円	96億5,994万8千円	95億4,348万1千円	94億2,800万3千円
住宅新築資金等貸付事業	2,105万円	1,098万2千円	646万6千円	1,072万6千円
奨学資金貸与事業	469万9千円	507万4千円	469万9千円	507万4千円
介護保険事業	54億3,828万3千円	52億6,048万5千円	53億2,242万8千円	51億7,799万4千円
後期高齢者医療事業	19億6,326万7千円	19億1,095万5千円	19億2,736万9千円	18億7,331万4千円
農業集落排水事業	2億1,952万9千円	2億2,181万8千円	2億1,952万9千円	2億2,181万8千円
土地取得事業	4億6,645万9千円	6億1,152万円	4億6,645万9千円	6億1,152万円
二日市財産区	298万5千円	250万1千円	298万5千円	161万円
御笠財産区	1,293万9千円	1,015万6千円	879万4千円	879万4千円
平等寺山財産区	3,552万4千円	2,383万1千円	3,257万5千円	2,357万3千円
計	178億3,622万6千円	177億1,727万円	175億3,478万5千円	173億6,242万6千円

公営企業会計決算収支

地方公営企業法の適用を受け、公営企業会計による独立採算制をとっています。

(消費税等込)

会計名		収入決算額		支出決算額	
		25年度	24年度	25年度	24年度
水道事業	収益的収支	18億423万2千円	18億7,840万7千円	16億9,848万3千円	16億9,084万5千円
	資本的収支	1億9,858万7千円	2億124万1千円	6億7,835万9千円	7億2,434万5千円
下水道事業	収益的収支	18億1,983万円	18億5,460万9千円	17億3,141万6千円	17億8,603万9千円
	資本的収支	11億9,257万4千円	9億4,772万6千円	18億5,117万1千円	14億3,918万3千円
計		50億1,522万3千円	48億8,198万3千円	59億5,942万9千円	56億4,041万2千円

**点策
重施** **生活をまもる**

● 児童福祉施設整備事業

5748万8千円
県補助金を活用し、25年度は光が丘幼稚園の園舎を増築し、待機児童の解消を図りました。

● 障害児長期休暇間タイムケア事業

31万5千円
障害児の夏季休暇期間中の日中の居場所づくりのため、ボランティアを活用したタイムケア事業を新規に実施しました。

● 拡大子ども医療費支給事業

733万1千円
入院医療費への助成を、平成24年度から新たに小学校3年生までに拡大し、実施しました。

● 予防接種事業

2億5351万9千円
ヒブ、小児用肺炎球菌ワクチンの定期接種化を行いました。25年10月から70歳以上の皆さんへ成人用肺炎球菌予防接種の助成を行い、また、11月から風しん予防接種に対しても同様に助成を開始しました。

● 二日市保育所大規模修繕事業

561万3千円
入所児童の安全で快適な保育環境の整備のため、25年度は設計および一部工事を行いました。

● 筑紫野太宰府消防本部および筑紫野消防署庁舎改築工事事業

6億8843万円
筑紫野太宰府消防組合消防本部および筑紫野消防署庁舎改築工事に伴い、旧庁舎の解体などを実施しました。



▲建設が進む消防本部と筑紫野消防署

**点策
重施** **共助社会づくり**

● コミュニティづくり事業

332万9千円
小学校区を一つのコミュニティ単位として、新たなコミュニティ組織の設置を行うため、コミュニティ学習会(ワークショ

ップなど)を実施しました。

● 筑紫コミュニティセンター建設事業

4億9638万4千円
筑紫多目的集会施設の老朽化により筑紫地域のコミュニティ拠点施設として建設を行い、26年7月に開館しました。



▲活用されている筑紫コミュニティセンター

● 市民協働事業

309万7千円
社会的課題や地域の課題に対して、市民と企業、行政が協働して課題解決に向けた取り組みを行います。25年度は19件の協働事業を実施しました。

**点策
重施** **未来をつくる**

● コミュニティ・スクール推進事業

97万8千円
二日市東小、山口小、天拝小、

筑紫野中の4校をモデル校として、コミュニティ・スクールの導入を進めました。

● 生徒指導総合推進事業

1751万5千円
児童生徒の抱える問題などを総合的に解決するための支援体制の充実などのため、適応指導教室の実施、心の教室相談員の配置、不登校対策専任指導員の配置などを行いました。

● 阿志岐山城跡特別企画展事業

367万5千円
阿志岐山城跡が国指定となったことを記念し、特別企画展とシンポジウムを開催しました。



▲「発見!阿志岐山城跡」展を開催しました

● 市道「上原田線」道路新設改良事業

9342万8千円
JR原田駅方面から、県道

17号線へのアクセス向上のため、市道「上原田線」を新設し、25年11月1日に開通しました。

● 上原田公園整備事業

1億1236万6千円
遊具施設の設置や、管理施設の整備などを行い、25年10月1日に開園しました。



▲家族連れの憩いの場となっている上原田公園

● 天拝公園周辺整備事業

7979万9千円
天拝公園へのアクセス向上のため、24年度に測量設計を行いました。25年度に一部工事を実施しました。

決算の詳しい内容は、市役所情報公開室、市民図書館、市ホームページで確認することができます。